

# 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【上小小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	朝自習「基礎学習の時間」を活用して、通年で国語の書きと計算の基礎問題に取り組んだことで、学力の定着を促すことができた。来年度も継続して取り組んでいく。理科の平均点を向上させることが課題となっている。来年度は、理科の授業改善を行い、児童の学習意欲と学力を高める授業を実施していきたい。また1・2年生の算数でT・Tでの授業を展開し、更なる基礎計算能力の定着を目指したい。
思考・判断・表現	授業で「個で考える時間」を十分に確保し、個別最適化された学習を展開できた。ミライシード「オクリンク」「ムーブノート」を効果的に活用し、学習の理解度を教師側で適宜把握することができていた。全国学力・学習状況調査の国語「A話すこと・聞くこと」の項目では、埼玉県の前を下回った問題があったので、日々の授業の中で、「話す力」「聞く力」を高められるような授業展開を行っていく。
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問項目について、5・6年生で84.4%の肯定的な回答を得られた。今後も、その数値を維持できるように、タブレット等を活用し、計画的に学習を進められる環境をつくっていく。来年度は、「これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目についても肯定的な回答を増やしていきたい。

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	令和3年度・令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果より、国語・算数の「知識・技能」において2ptの向上を目指す。	⇒ 朝自習「基礎学習の時間」を活用して、通年で国語の書きと計算の基礎問題に取り組む。3年生の算数では、T・Tによる学習を進め、学習内容の定着を図る。
思考・判断・表現	令和4年度さいたま市学習状況調査の自校の結果より、国語「読むこと」において、全体偏差値で2pt向上させる。	⇒ どの教科においても、授業で「個で考える時間」を十分に確保し、文章を確実に理解する能力を高める。(ミライシード「オクリンク」「ムーブノート」の効果的に活用し、理解度を教師側でも適宜把握していく)
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問項目について、5・6年生で85%以上の肯定的な回答にする。	⇒ 家庭と連携し、タブレット/パソコンを活用し家庭学習の充実を目指すだけでなく、学年及び学級担任から、懇談会等を活用して、家庭学習の進め方について継続的な声かけを行う。

<小6・中3> (4月～5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	朝自習「基礎学習の時間」に、通年で国語・算数の学習に取り組むことができた。令和3年度・令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果より、国語・算数の「知識・技能」において2ptの向上を目指したが、国語では、-11.5ptとなった。	B
思考・判断・表現	令和4年度さいたま市学習状況調査の自校の結果より、国語「読むこと」において、全体偏差値で2ptを目指し、結果として+1.4ptの向上が見られた。	B
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問項目について、5・6年生で85%以上の肯定的な回答にすることを目標とし、結果として84.4%の肯定的な回答であった。	A

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	令和5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、令和4年度全国学力・学習状況調査の自校結果と比較し、国語-11.5pt、算数-1.6ptであった。全国平均との比較では、全ての項目の数値で上回っているものの、算数の記述式の問題のみ全国平均とほぼ同じ数値であった。
思考・判断・表現	令和5年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、令和4年度全国学力・学習状況調査の自校結果と比較し、国語-2.5pt、算数-6.5ptであった。国語「A話すこと・聞くこと」の項目では、埼玉県の平均を下回った問題があった。
主体的に学習に取り組む態度	令和5年度全国学力・学習状況調査の「学習した内容について分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合は94%だった。授業を工夫することで、主体的に学習に取り組む態度が培われていることがわかった。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、市の平均値より国語-2.3pt、算数+0.7ptであった。国語・言葉の特徴や使い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項において課題がみられた。 R5年度さいたま市学習状況調査・国語の「思考・判断・表現」においては、市の平均値より+8.2ptであった。	小4	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、市の平均値より国語+7.3pt、算数+3.9ptであった。算数・数と計算、データの活用については、理解が確実にできている。 R5年度さいたま市学習状況調査・算数「ひし形の特徴」については、9割以上が理解できている。
小5	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、市の平均値より国語+5.0pt、算数+3.5ptであった。国語の「思考・判断・表現」については、-2.6ptとなっており、自分の考えを表現する能力を高めていく必要がある。理科「知識・技能」「思考・判断・表現」においては、平均値より、-0.7pt、-1.0ptとなっており、授業の改善を目指す。	小6	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、市の平均値より国語+5.9pt、算数+5.7pt、社会+3.6pt、理科+0.2ptであった。どの教科においても、「知識・技能」の力確実に身につけていると考えられる。理科「物は、水に溶けると液全体に広がることを理解している」という問題では、市正答率が14.2%のところ、自校正答率が7%であった。理科における学習理解の定着を目指す。

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒
思考・判断・表現	変更なし	⇒
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒